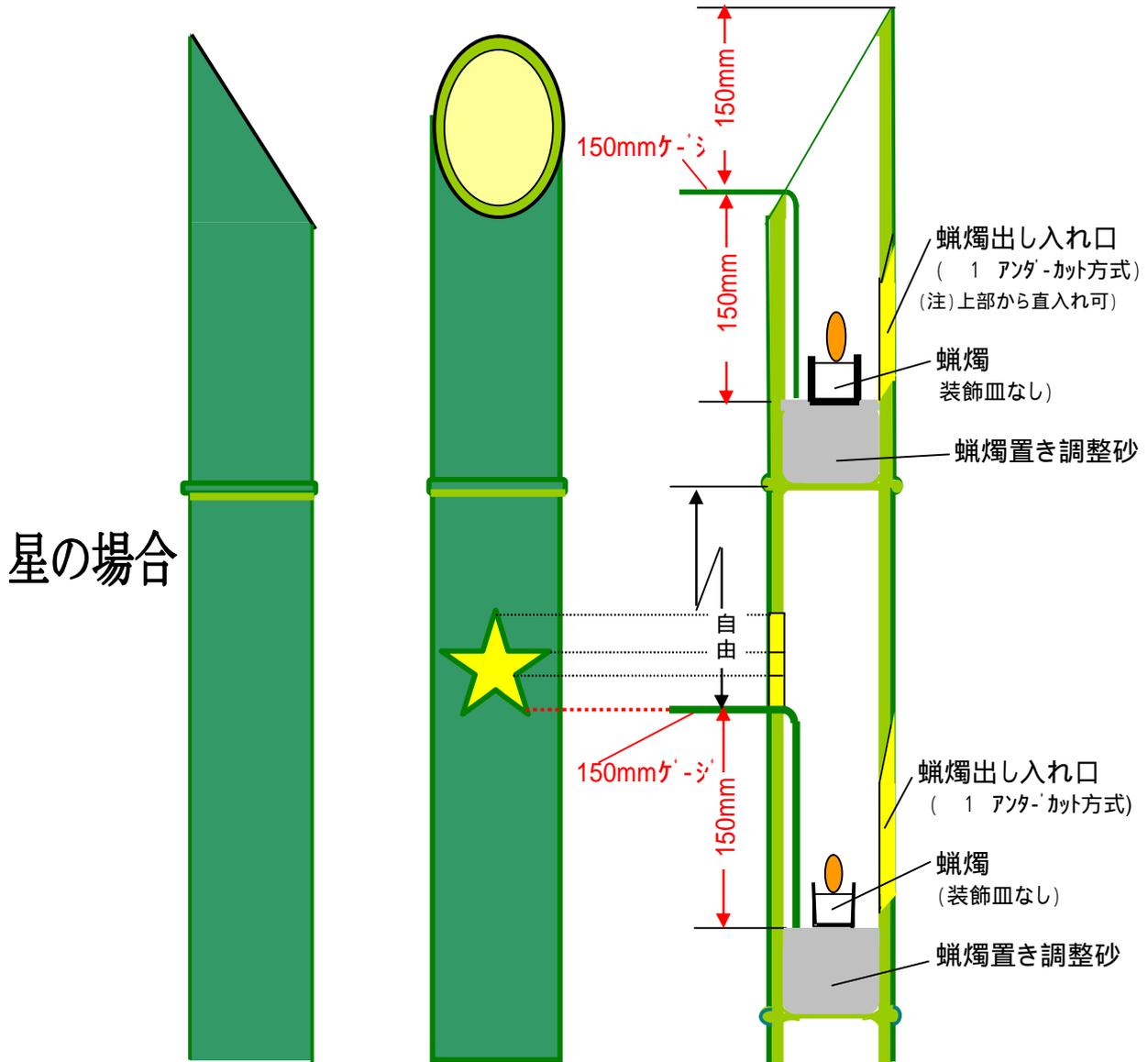


# 風で消えにくい 竹灯籠燭燭設位置(高さ)

(扇風機・風速計により実験確認)

トップ燭燭  
(灯籠)の場合

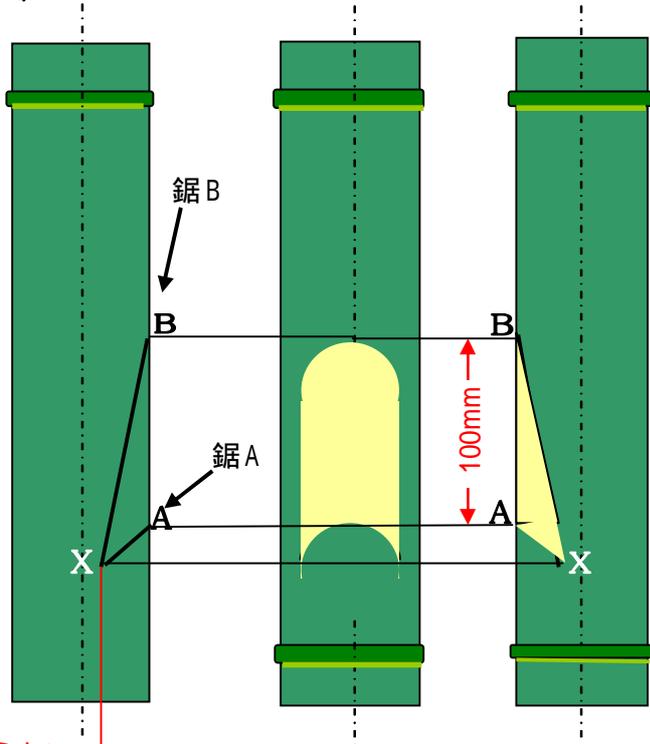
(注) 竹材寸法・組み合わせ構成は別紙による。



<注>

- 1、節間寸法は適当
- 2、燭燭出し入れ口のアンダ-カットは次頁参照
- 3、燭燭置き調整砂を用いず、「節」に直接置きは避けるのが良い  
何となれば、節は凸曲・凹曲あり燭燭置きが不安定

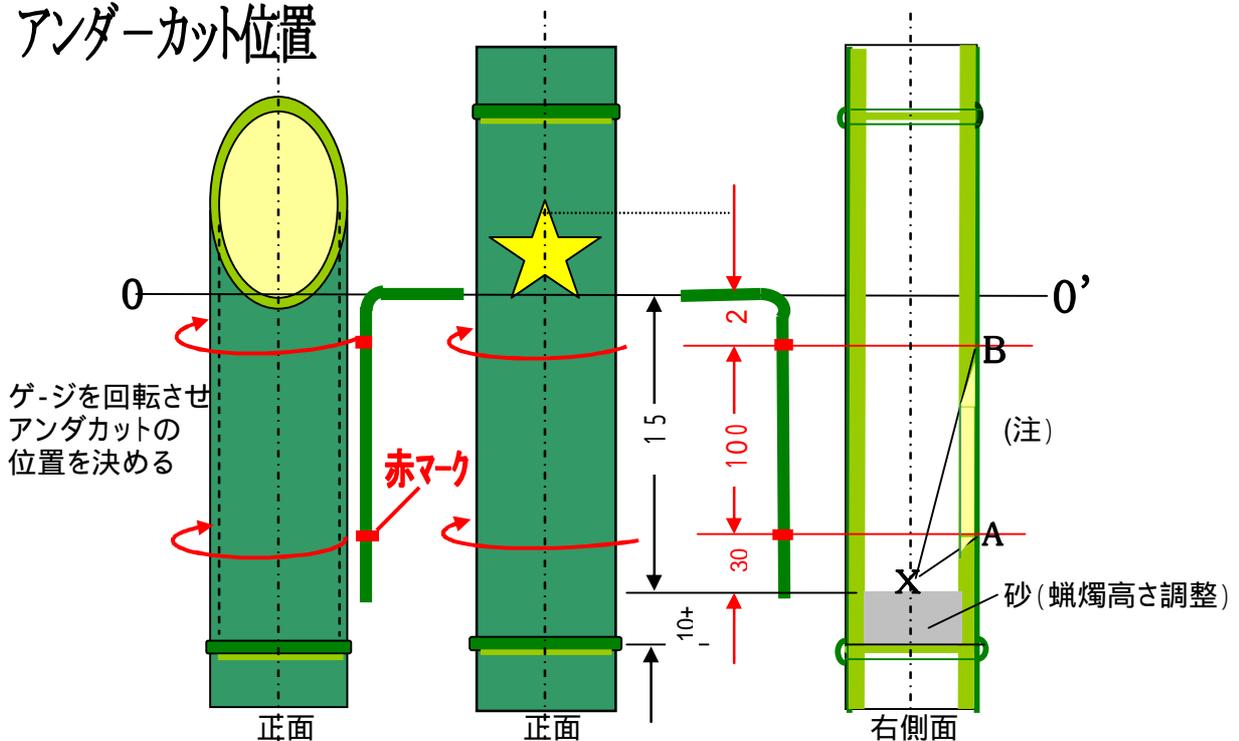
# 蠟燭出し入れ口 (アンダーカット方式)



- 1、左略図に示すごとく、鋸入A・鋸入B をもって、傾斜カットします。
- 2、俗に云うアンダーカットとなり切り取られた部分(蓋)は前後・左右には、鍵機能があり容易には脱落しません。
- 3、暴風調整の砂入れ高さとの位置関係があり、鋸入れの寸法位置は下図を参照下さい。

センタ - を超えない

# 蠟燭出入り口 アンダーカット位置



ピンゲ-ジには上略図に示す赤マ-クを付けています。0-0' 線を基準にピンゲ-ジを回転させ切り込み位置A・B を決めて下さい。

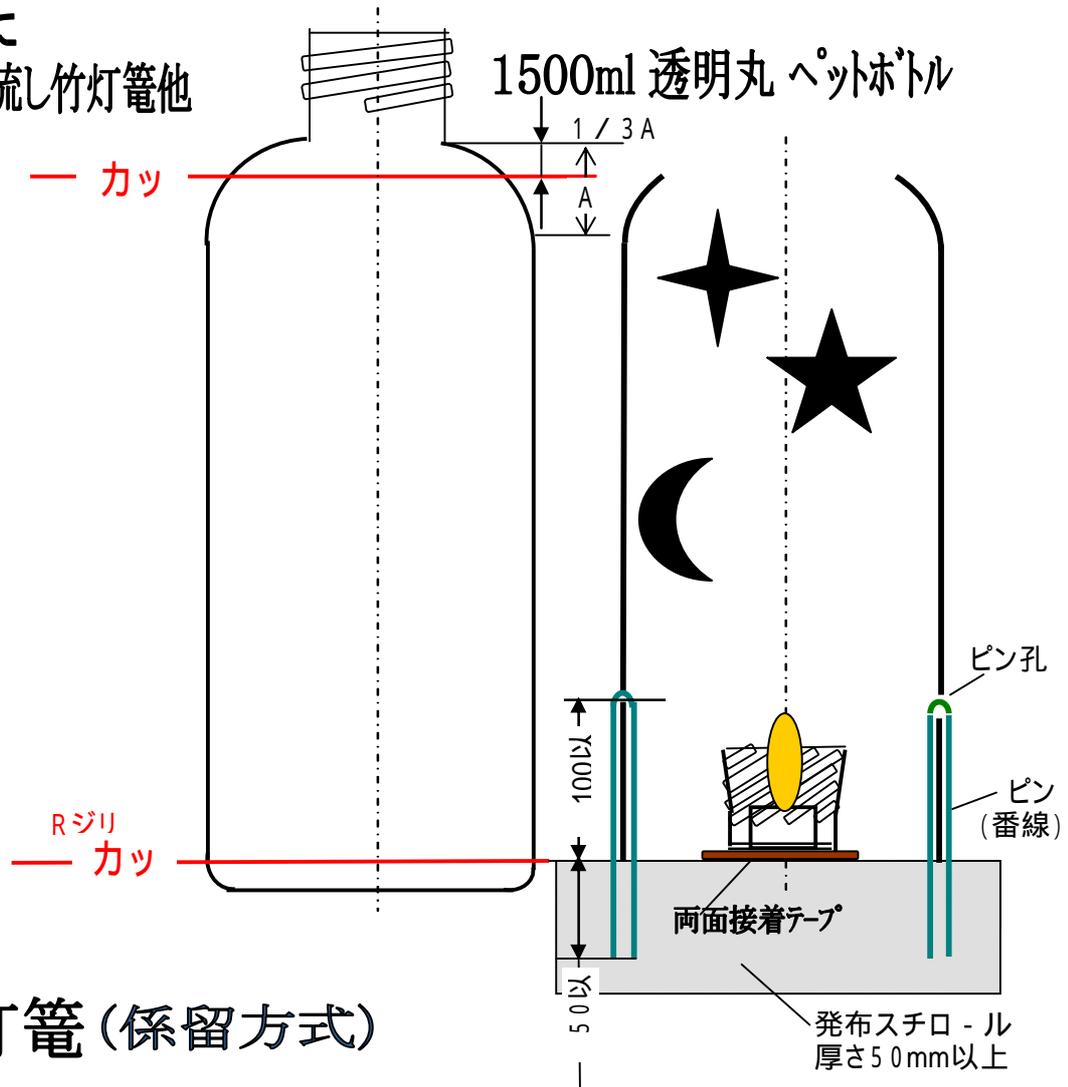
(注) 1、鋸A の切り込み高さは30mm以内。(深く切ると砂がこぼれる)

- 2、X点は竹径センタ-を越えない方が良い(切り線が正面から見える)
- 3、アンダ-カットの鋸の入れ方は、A・Bが平行であること。(最も重要)

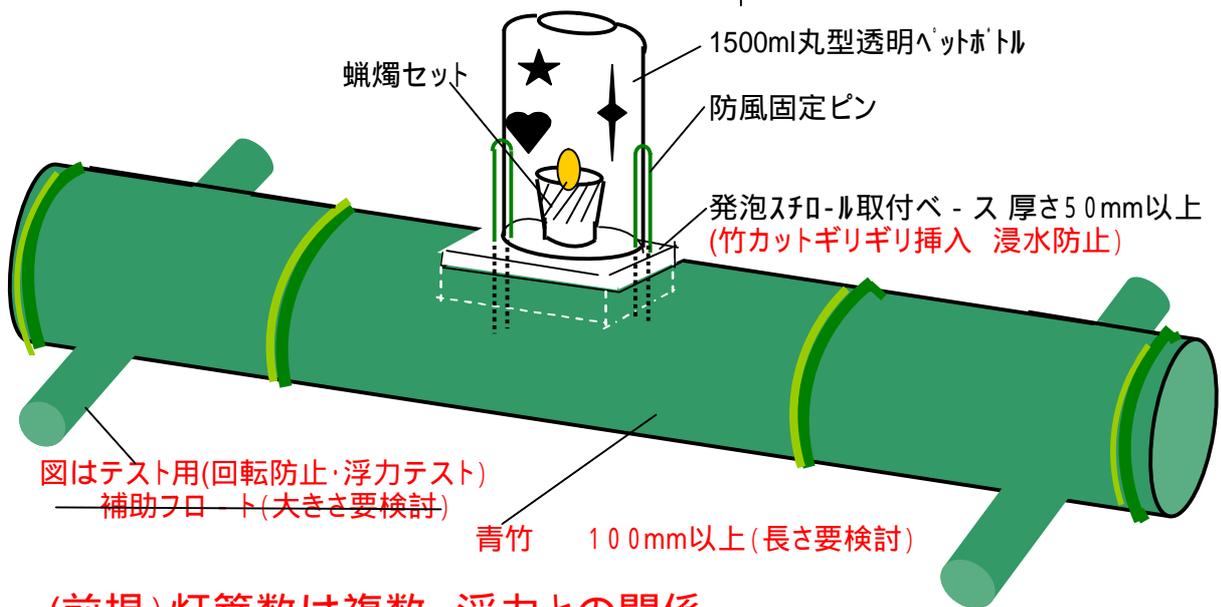
- 2 -

特赦な灯籠に

流し竹灯籠他



### 流し灯籠 (係留方式)



(前提) 灯籠数は複数 浮力との関係

<参考>

イカダ方式は別紙提案を参照下さい。

— 3 —

— 3 —





